

件名: 近畿鴻峰会事務局通信 1月号

Subject: 近畿鴻峰会事務局通信 1月号

近畿鴻峰会会員の皆様

近畿鴻峰会事務局

事務局通信 1月号をお届けします。

このメールは、近畿鴻峰会会員の皆様へBcc:でお送りしています。



堺市からの初日の出 葛城山の稜線

会長新年のご挨拶

会長 馬場久枝(74期)

近畿鴻峰会の皆様！新年明けましておめでとうございます。

よい年をお迎えになったことと思います。

昨年の年末は、残念ながら、母校のラグビー部は全国大会に出場せず、皆様との花園での集結はありませんでしたが、近畿鴻峰会の皆様には昨年1年間、本当にさまざまな行事、活動に参加していただき、かつ盛り上げていただきまして有難うございました。心よりお礼申し上げます。

今年も、皆様と、諸々の活動（一木会、自然に親しむ会、酒蔵めぐり、萩往還等々）や、7月の総会でお会いし、締めくくりは花園で集結できることを楽しみにしておりますので、ぜひとも諸々の活動にご参加のほどお願いします。

ところで、今年は、4月で平成が終わり、5月から新しい元号が始まるとのことです。

元号が変わる、といいましても、個々人の日常生活に直接影響を及ぼす、ということはないと思います。ただ、私個人としましては、昭和、平成、〇〇の3つの元号の時代を生きる、ということで、私は昭和と共に成長し、平成で円熟(?)し次は?と、この先に向けての自身のあり方を思索するきっかけになりました。

人それぞれ、考えもそれぞれですが、皆様、とりわけ若い方にとりましては、平成の次に向けて、自身を見つめなおし、さらに大きく飛躍される年になりますよう祈念しております。

又、今年は維新150年でもあり、近畿鴻峰会も65年の節目の年でもあります。近畿鴻峰会にとりましても飛躍する年になるように頑張りたいと思います。

以上、いろいろと書きましたが、今年も、皆様と、近畿鴻峰会のいろいろな活動を通じて元気に楽しくお目にかかれることを楽しみにしております。

お知らせ

期日	行事	世話人	掲示板
1月27日(日)	新年幹事会	幹事長 田原幸夫(81期)	

2月 7日(木)	一木会 2月例会	南 正晴(72期)	670
2月吉日	旅行会「日生温泉」企画	齋藤直美(68期)	
3月24日(日)	平成30年度「萩往還を歩く会」	厚東一生(76期)	668

※詳細は世話人、事務局への問い合わせ、掲示板などで確認ください

エッセイ

■ 8月対馬旅行

96期 藤井豊

予想はしていたがこれほどとは。朝9:00対馬厳原港、ガソリンスタンド兼営のレンタカー屋の女の子に韓国人、から始まったこの旅行。和多都美神社に観光バスの団体さん、道の駅の蕎麦屋のお客さんの半分以上(ほぼ満席)は、序の口で厳原から北上し先端の港町、比田勝までの縦貫バス(約2時間半)の座席の90%はハングルをしゃべる。レノファサポーターの弟曰く「圧倒的なアウェー感」。1日5本程度のこのバス、隣国からのお客さんがいなければ確実に大赤字だろう。比田勝にあと5分のこの田舎にはちょっと不釣り合いなショッピングセンターとドラッグストアが併設された郊外店から大量の荷物をかかえた方々でバスは一挙に満車になる。比田勝の宿にチェックイン。田万川の江崎港程度のちっぽけな港町には寿司屋が2軒と居酒屋が3軒。猛烈に嫌な予感がして18時台に片っ端から飛び込むが全て予約で一杯。やむ無く真新しい韓国料理の店(!)でホルモン鍋を食べる。翌朝比田勝「国際」ターミナルに行くと、こぢんまりしてるがピッカピカの建物からぞろぞろ吐き出される人、人、人、そしてひっきりなしに出入りする観光バス。若い人も大勢いるが、その韓ドラから出てきたようなおしゃれな出で立ちと眼前のイカ釣り漁船が全くマッチしていない。下関国際フェリーターミナルの1/10以下だろうが賑わいは10倍だ。なにせ1日10往復も釜山便があるのだから。港の真正面には韓国系の免税店(従業員は全員韓国人)、少し離れて地元スーパーが営む免税店。どちらも芋の子洗い。何があるのかと国籍を偽って入店すると化粧品からお菓子から、洗剤、爪切り、ハサミ...総じて単価が安いものが多い。疑問を抱えたまま比田勝から釜山に向かうジェットホイールに乗り釜山港について合点がいった。

チェックインに20分、航路1時間、チェックアウト20分、わずか1時間40分程度で真新しい釜山フェリーターミナル直下の大駐車場に行ける、そこから家まで一直線。船は飛行機と違って荷物の制限が緩い、だから単価が安いものを大量に買って来れる。交通費も安い。日帰りもできるし毎週でも行ける。週末にコストコに買い物に行くのと大差ない。でも彼らにとっては「外国」。釜山から巨済島に行くのと何が違うのと思ったが全然意味が違った。言っただけだが比田勝の優位点は単に近だけ。しかしそのインバウンドにおける優位は東京や京都にもない強みだった。一方で紛れもない過疎地帯に降って湧いた特需を受け止めようにも若い働き手(と2ヶ国語人材)がいなかったため韓国人経営のゲストハウス、飲食店、免税店(の従業員)に商機と雇用を持ってかれてるようにも見える。色々考えさせられる忘れられない光景だ。そして対馬の魚で飲めなかった恨みも忘れない。

事務局からのお知らせとお願い

- 配信停止、アドレス変更、ご意見お寄せ下さい。
- 会員異動情報(転入、転居、転出、逝去など)お知らせください。
7月の近畿鴻峰会総会に向けて、名簿の整理を行います。
情報をお持ちの方は是非、名簿委員または事務局までお願いします。
- 記事募集 エッセイ、写真、絵画、個人活動何でも歓迎です。
エッセイ募集しています。
1月号では96期藤井豊さんの「8月対馬旅行」を掲載しました。
会員皆さまからの投稿お待ちしております。
掲示板もお気軽に投稿ください。

■ 近畿鴻峰会

HP

<http://www.dosokai.ne.jp/yamako-kinki/>

